

報みょうとく

題字 松川裕子

浄土真宗本願寺派妙徳寺
(安芸教区志和組)
発行責任 寺報編集委員会
東広島市八本松町飯田六〇二
電話〇八二四二八〇一四四



記念事業中間報告会



橋宏幸さんと濱田忠彦さん
にお願いすることとなりま
した。こ
をご紹介
いたしま
した。こ
の発行委
員会は今
秋の門信
徒会館竣
工後も引
き続きご
協議いた
だき、来春予定しています
新発意得度披露記念法要ま
でお世話いただくこととし
ています。
募財状況については未だ
寄付受付中であり、今秋の
締め切りまで引き続きお願
いをお願いしていることを説明
しました。

その後、建築工事現場へ
移動し現在状況をご視察い
ただきました。門信徒会館
の間取りをご覧いただき、
門信徒広間の広さや講師接
待部屋からの景色、スロー
プの位置などをご確認いた
だきました。裏庭の眺望に
も気を配った間取りである
ことをご覧いただくことが
できました。
終了後の午後四時過ぎか
ら、新実行委員を迎えての
懇親会も行いました。この
ような懇親の場が新しい会
館で多くの人とできますこ
とを楽しみにしております。
現在の門信徒会館建築状
況ですが、益明けで木工工
事が終わり、続けて内装電

気周辺工事になり
ます。足場もすべ
て撤去となり、建
物外観がよくご覧
いただけるように
なります。
私も何か記念に
なるものをお願い
旧建物の床板を使っ
てお名号を彫りま
した。新しい会館
のお内仏にしよう
と思っております。
これも含めて今秋
の建物完成と来春の記念法
要を楽しみにしていってくだ
さい。



毎回恒例、敷地北側からの撮影です



【左】中央奥が現在建築中の門信徒会館 【右上】新たにご就任いただいた副委員長お二人挨拶

六月二十五日
(水)午後三時
から新発意得度
披露記念事業の
中間報告会を行
いました。
まずは新実行委
員の紹介。昨年
来お世話をいた
だいている実行
委員さんの中に
体調不良の方が
数人おられるた
め、この度新た
に実行委員を増
やし多くの方に
お関わりいただ
きたく、また実
行委員長には小
川憲作さんに、
副委員長には高

「平和の鐘」

六月六日(金)十時半か
ら、東広島ユネスコ協会
(代表 飯田國彦氏)との
共催で平和の集いを行いま
した。毎年八月に小規模小
人数で行っておりましたが、
今年は暑さを避けて六月に
開催することになりました。
こども園の園児が歌を歌

い、ユネスコ憲章を全員で
読み、参加者で梵鐘を撞い
て平和への願いをともに致
しました。
仏教は相手の気持ちを大
切にすることを説きます。
相手を敬えばこそ自分の気
持ちは押し付けることなく、
争いを避ける生き方につな
がるのだと思います。それ
はユネスコ憲章に通じる精
神です。

一語法話

前回の寺報で、親鸞さま
は「阿弥陀の念仏による教
えは釈尊以降、多くの国の
たくさんの人々にとってそ
の時代に於いて救いの道と
なってきた。それと同様の
苦しみ悩みを抱える私とこ
の時代において最もふさわ
しく、今まさにいただくべ
き教え(純熟の真教)なの
だ、とおっしゃる」とお話
しました。先達方々はそ
のご生涯の中でそれぞれに
阿弥陀の教えを深く味わい
つつ、「このようにいただ
くのだよ」と指南くださっ
ているのだ、と正信偈の後

今年には戦後
八十年、戦
争体験者が
少なくなっ
ている中で
こそ一層、
平和への思
いと戦争へ
の恐れをあ
らたにした
いものです。



ライン登録のお願い

寺報では対応できな
い、急な予定変更を
すみもつけました。先日の
すぐにお知らせする
ためにライン登録を
お願いしています。
普段は行事前に一斉
配信しています。
なお、お寺にお参り
いただくたびにポイ
このQRコードを
読み込むか、
@985fghgy
を検索してください



行事予定

- 門信徒会館建築工事のため、住職が講師を務める
ことが多くなります。また、暑い日が予想される時
期です。ご無理のない範囲でお参りください。
可能な限り建築現場の見学を行います。
- 八月六日(水)午前八時
広島原爆記念日
(本堂でお参りの後、みんなで梵鐘を撞きます)
- 八月七日(木)
午前八時 あらためて原爆記念の梵鐘撞き
午前九時、午後一時 法座
(午後一時からは物故者追弔会も行います)
- 孟蘭盆会 (うらばんえ)
講師 当寺住職 自動
- 八月九日(土)午前十時半
長崎原爆記念日
(本堂でお参りの後、みんなで梵鐘を撞きます)
- 九月十八日(木)午前九時、午後一時
秋彼岸会 (あきびがんえ)
講師 当寺住職 自動

本堂にお掛けの七高僧図の中の龍樹様。華をお持ちです



『正信念仏偈』

半でお讃えくださっているのです。

今回はその第一祖としてご讃嘆される龍樹菩薩(一五〇―二五〇年頃)です。

釈迦如来、楞伽山にして衆のために告命したまはく南天竺(南印度)に龍樹大士世に出でてごごとくよく有無の見を摧破せん
大乘無上の法を宣説し
歡喜地を証して安樂に生ぜんと

釈迦如来が、楞伽山にましまして説法されたとき、聴衆に予告されました。「南インドに龍樹という仏法に通達した偉大な人が現れ、有無に執らわれて真実を覆う見解を、ごごとく打ち砕くであろう。大きな乗り物のように、人みなを真の救いに至らせるこの上ない法を説き、身心に喜びの失せない生活を証して、いのち安らふごとのくに

生まれしめるであろう」と。

楞伽経というお経の中にある釈尊の予告の言葉を引用しておられます。そのお言葉通りに釈尊から六百年以上後に現れくださった龍樹さまはあらゆる仏の教えに精通し、現在でも多くの大乘仏教各宗派で大切にされるお方です。伝承では若いころの悪行をあらためてわずかな日にちで小乗仏教を讀破し、さらに大乘経典を授けられてその極意に至られたといわれています。その生涯から、学問を学んでも欲望はなくなるわけではなく、ごごとく、それでも留まることなく学び、学んだことにとらわれることなくさらにまた学び続けることの大切さを知らされる思いがします。

様

ごごとく「有無の見を摧破せん」についてですが、龍樹菩薩は、有るとか無いとかに執着するような人間のはからい心を打ち破られました。「有無の見」とは、有の思想・無の思想の二者どちらともいうことであります。釈尊は縁起の教えをお説きになりましたが、龍樹菩薩はそれを「空」として解釈し、執着すべきものはなにひとつないことをお示しくださいました。

一切は縁起によって成立しているから無自性(不変の実体はない)であり、一切が無自性であるから世界は空という事になります。



合同墓・墓地案内
有縁の皆さんでおまもりしている合同墓と一般墓地です。ご相談ください。

妙徳寺ホームページ
<http://myotoku-ji.sakura.ne.jp/>

「書道教室」

ホームページ内の「行事カレンダー」に稽古日を掲載しています。妙徳寺LINEでも随時お知らせいたします。(毎月3回程度の金曜日 午後2時半～午後5時の間)

※金谷雷聲先生(蕾門会)による幼児・児童・大人対象、硬筆・毛筆教室です。申込は金谷先生のお電話0823-82-9565 または妙徳寺へご連絡ください。

「おみのりサロン」開催予定日

8月19日(火) 9月18日(木)
10月17日(金) 午後2時より1時間半
(住職が本堂に待機、相談をお受けします)

空とは有るのではなく無いのでもない、それが縁起の有り様なのだといふのです。人間が自分の都合で縁を結ばない限り、空そのものは「夢」も「希望」もありません。しかし「絶望」も「苦」もまたないのです。ごここでは親鸞さまは「有無の見」は人間の偏見、つまり「わがはからひのころ」といいただかれました。

そのうえで釈尊はやがて現われになる龍樹菩薩のお勧めに従って「はからひのころ」を離れて仏教の教えを聞かせていただくならば、この上ないよろこびと楽しみの世界を知らせていただくことができやうとおっしゃったのだ、とお讃えされているのです。(次回に続きます)

四十八願について
第四願「無有好醜」

たとひわれ仏を得たらんに、國中の人・天、形色不同にして、好醜あらば、正覚を取らじ。

わたしが仏になるとき、わたしの国の天人や人々の姿かたちがまちまちで、美醜があるようなら、わたしは決してさとりを開きません

第三と第四の願は、浄土に生まれたものの、果と報を現しているのではないかと思えます。果は共通の報いのごとく、報は個別的な報いのごとくです。たとえば私とあなた方とは、人間という共通の報いを受けています。しかし一人ひとり、顔も違えば性格も違います。それを報というのです。浄土に生まれれば、皆一

様に心の眼が開け、真実の自己が誕生して、生きる喜びは全身に輝くようになり、それが第三願でしたが、この第四願は浄土に生まれた人は皆同じになつて弥陀も菩薩も男も女も見分けがつかなくなるというのではなく、浄土に生まれる人それぞれの個別の報いとしてその人その人の個性の美しさに輝くようになるというごことでしょう。

どうにかなることならば、本人の責任ですが、どうにもならないことで悩み、苦しまなければならぬことほど悲しいことはありません。他人と比べて喜んだり悲しんだり。いくら「心のもちようですよ」と慰められても比較の世界にある限り、解決はありません。その人の悲しみを悲しみとしてうけとめてくださ

る大悲の方が阿彌陀如来であります。それ故に、わざとわが第四の願において「姿形がまちまちで、美醜のちがいがあつたらうなら、わたしは決してさとりを開きません」と誓ってください、私の目覚めた眼の世界では、どんな境遇の人も同じようにキラキラ輝いていく。もし美しい、醜いの違いがあるようでは、それは目覚めた世界とは言えない

(次号へ続く)

記事・玉田義幸、住職

志和組テレホン法話「みのりの電話」

082-433-4989

8月 1日	天龍寺	天野 英昭
8月 11日	志和東	石川 了真
8月 21日	西蓮寺	西浦 憲雄
9月 1日	西方寺	安國 真雄
9月 11日	八本松篠	岡本 法治
9月 21日	長松寺	中田 充法
10月 1日	寿福寺	田中 真
10月 11日	浄蓮寺	沼田 典生
10月 21日	八本松南	玉田 義幸

志和、八本松川上地区の本派寺院13カ寺のテレホン法話です。3分程度のお話を24時間いつでもお聞きいただけます。ぜひ、電話でもお聴聞してください。

「写経の会」

8月22日(金) 9月26日(金) 10月24日(金)
それぞれ午後2時より
申し込みは代表_西本さん(428-2466)、または妙徳寺へ

「生きていくための仏の教え仏教基礎講座」

8月30日(土) 9月13日(土) 10月11日(土)
それぞれ午後2時より
申し込みは代表_廣川さん(428-5935)、または妙徳寺へ

「妙徳寺仏教壮年会例会」 (原則毎月第2土曜日)

8月 9日(土) 午後6時より 定例会
9月13日(土) 午後6時より 寺報編集会議
10月11日(土) 午後6時より 定例会